

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2022ワールドアスレティックス規則並びに2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 本競技場は各日とも7:30~9:15まで利用可能とする。
- (2) レーンの使用は下表のとおりとする。

レーン	短距離	中長距離周回	ハードル
H&B:1・2		○	
H:3~7	○		
B:3~6			
H:8・9			○(110mH100mH)
B:7・8			○(400mH)

H:ホームストレート B:バックストレート

- (3) 投てき練習は、砲丸投げを除き禁止する。やり投げ・円盤投・ハンマー投は助走やターン練習のみとする。
- (4) ミニハードルやメディシンボールなどの練習器具を持ち込んでの練習を禁止する。(リレーのバントを除く)
- (5) 9:15以降は競技場正面駐車場の一部やバックスタンド上部を走練習のウォーミングアップ場所とする。

3 招集について

- (1) トラック種目招集所は、100mスタート後方ゲート側付近に設ける。フィールド種目は現地招集とする。十種競技においてもトラック種目は招集所、フィールド種目は現地招集とする。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、以下のとおりとする。詳細は、新潟陸協HP記載の競技日程及び招集時刻を参照すること。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド	競技開始40分前	競技開始30分前
混成競技	競技日程に記載時刻	

(3) 招集の方法

- ① 競技者は招集開始時刻前に、招集所で待機し、係員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス、ユニフォーム、競技用スパイク及びシャツ・バック等の商標についての点検を受けること。
- ② 競技者は競技役員の指示に従って、入退場すること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものと見なす。
- ④ 招集は必ず本人が行うこと。ただし、多種目同時出場者は、最初の競技招集前に招集所に申し出ること。

4 アスリートビブスについて

- (1) 県選手権大会に出場する選手のアスリートビブスは主催者が配布したものを使用し、配布された大きさのままユニフォームに結着すること。高校生は高体連のアスリートビブスを使用すること。
- (2) Niigata記録会に出場する選手は競技規則に準じて各自作成したアスリートビブスを使用すること。高校生は高体連のアスリートビブスを使用すること。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、右腰のやや後方に取り付ける。高校生は16レーンまでの腰ナンバーカードを各学校で用意すること。
- (4) 県選手権大会 長距離種目はレーンナンバーを識別するためにシール式のナンバーを招集所で配布するのでユニフォームの胸に結着すること。
- (5) 跳躍競技の競技者のアスリートビブスは背部または胸部のみでもよい。

5 ユニフォームおよび携行品の商標について

日本陸上競技連盟制定の「競技会における広告および展示物に関する規程」に従うこと。
規程に抵触している場合は、是正を求めらるので従うこと。

6 競技用シューズについて

競技者が使用するシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)についてはWAテクニカルルールTR5を適用する。

※詳細は日本陸連HP参照: [_https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/](https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/)

7 競技について

(1) 不正スタートについて

一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

(2) レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

(3) Niigata記録会のフィールド種目は3回の試技とし、トップ8は行わない。

(4) 競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。

投てき用具の持ち込みを希望する者は、競技開始1時間前までにスタジアム正面にて検定を受けること。

持ち込みは1人2つまでとする。検定に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。

返却は競技役員 の指示に従うこと。

(5) フィールド競技における練習は、すべて競技役員 の指示に従うこと。

(6) 競技中における助力は「日本陸上競技連盟競技規則第6条TR6」に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。

(7) トラック種目では衣類をフィニッシュ地点へ運搬する。ただし、400m、400mHを除く。

(8) 三段跳の踏切版は男子10m、女子8mとする。ただし、状況によっては審判長の判断により変更する場合がある。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について（天候等の状況により変更する場合もある。）

		練習		
走高跳	男子	1m55/1m70/1m90	1m60-65-70-75-80-85-88-91-94-97-2m00-03-06	以降2cm
	女子	1m15/1m40/1m60	1m20-25-30-35-40-45-50-53-56-59	以降2cm
棒高跳	男子	3m00/4m00	3m10	以降10cm
十種競技	走高跳	1m50/1m70	1m55	以降5cm
	棒高跳	3m20/4m00	3m50	以降10cm

* ただし、状況によっては審判長の判断によりバーの上げ方を変更する場合がある。

9 新型コロナウイルス対策について

(1) 選手及びコーチなどチーム関係者は正面玄関前で検温を受けること。

(2) 当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。

(3) 来場にあたってはマスクを着用し、ウォーミングアップ中および試合中を除いてはマスクを着用すること。

(4) 各所に備え付けのアルコールで下記に従って手指消毒をすること。

【トラック種目】スタート前およびフィニッシュ後 【投てき種目】投てき物を持つ前 【跳躍種目】毎試技前後

(5) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員 の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。

(6) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声および近距離での会話を避けること。

(7) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（一般財団法人新潟陸上競技協会）に報告すること。

10 その他

(1) 更衣室は更衣のみに使用し、できるだけ短時間の利用を心がける。貴重品は各自の責任で管理すること。

(2) 競技場内を移動する場合は、リストバンドを必ず着用すること。

(3) スタンドには、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。

(4) スパイクシューズを履いたまま競技場施設（スタンド等）には入らないこと。

(5) 記録掲示は行わない。アスリートランキングで確認すること。

(6) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。

(7) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。

(8) 記録証明書を希望する競技者は、受付にある「記録証発行申請書」に必要事項を記入し、500円（郵送料込み）を添えて申し込むこと。

(9) 競技場は7:00開場予定。選手受付は7:00～

本競技場における選手待機場所は場外植え込みやサイドスタンド及びバックスタンド下段とする。

競技場 屋内に待機場所を設置することは禁止する。

(10) 投てき用具検定はその日に実施される種目を対象とし8:45～12:00とする。

(11) 混成競技控室は設けない。

(12) ごみは全て持ち帰ること。（留め置きをしない。）

11 医療機関

長岡赤十字病院 長岡市千秋2丁目297-1 電話 0258-28-3600